

スキーム D ピッチ・アクターの選定結果について

令和 3 年 2 月 5 日
スキーム D ステアリング・コミッティ

大学教育のデジタルイノベーション・イニシアティブ（スキーム D）は、令和 2 年 6 月に構想を発表し、11 月から「求む。大学教育の DX に挑むイノベーター」を掲げ、デジタル技術を用いて大学等の授業価値を最大化することにチャレンジしたいアイデアを募集しました。

短い募集期間ながらも、大学教員 72 件、企業 20 件、大学スタッフ 8 件、学校教諭 1 件、そして学生から 3 件、合計 104 件ものご提案がありました。その内容は、新しい技術を求める構想が 41 件、技術の実践・実証の場を求める構想が 46 件、社会実装を目指す構想が 17 件でした。

ステアリング・コミッティでは、この素晴らしいアイデアの中で、短時間のプレゼンテーションにおいて聴衆にその実現への意欲や具体性をどう伝えられるかという観点から、

- ・ 実現したい教育について、より共感できたもの
- ・ やりたいこと、足りないものが、よりクリアに伝わったもの
- ・ 実現できそう、あるいはぜひチャレンジしてほしい、とより感じたもの

に着目し、2 月 19 日のイベントに登壇いただくピッチ・アクターを決定しました。

1 回目の今回は、6 組の大学教員、3 組の企業、そして 1 組の学生、合計 10 件のピッチを皆さまにご覧いただけます。その内容は、新たな技術を求めるものから社会実装を志向したものまで、また、専門分野に特化したものから学問分野を問わず幅広く応用できそうなものまであり、どれも興味深く、広く関心を持っていただけるのではないかと考えています。その具体的な内容は、当日ぜひご視聴ください。

また、今回選ばれなかったアイデアについても、これで終わりではありません。応募いただいた方には、フィードバックを行い、ウェブサイトアイデアの一端を掲載します。それにとどまらず、今後の第 2 回、第 3 回のピッチ登壇やパートナーとのマッチングなど、今後の実現を見据えたアイデアのブラッシュアップをお手伝いします。具体的な進め方については、2 月中にご連絡します。

コロナ禍の中で、どの学校現場も大変な思いをしている中、大学や高専の学びを変えよう！という皆様の意欲的なご提案により、スキーム D はスタートラインに立つ素晴らしい準備ができました。しかし、大学教育のデジタルイノベーションはまだ諸に就いたばかりです。学生を主体にした学びの改革の実現に向け、今後も皆様の積極的なご参画を心からお待ちしております。